

## 第4章 基本方針

### 1. 公園計画の考え方

基本的理念を受け、公園計画の考え方を以下のように設定する。

- ①首里杜構想との整合性及び首里城の歴史的風致に配慮した施設配置計画を行う。
  - ・首里の歴史的環境の最も重要な拠点として、首里杜構想との整合に配慮する。
  - ・かつての首里城の地形、植生、各種建造物によって構成されている歴史的風致に配慮した施設計画を行う。
  - ・県営公園区域と一体となった公園計画を図る。
- ②歴史・文化の拠点として魅力度の高い施設整備を図る。
  - ・沖縄の優れた建造物（木造建築物、石造建築物、彫刻など）の再生によって国家的文化遺産として広く公開し、これを末長く継承していく。
  - ・首里城を沖縄県民の愛情や誇りの対象とし、共有財産として守り育む。
  - ・首里城の持つ歴史性や存在意識を通して、沖縄の歴史や文化を広く国民に知らしめ、今後の沖縄の発展を考えるよすがとする。
  - ・沖縄の伝統文化の継承・発展、新たな文化の創造・学習の場ともなり得る施設整備を図る。
- ③将来に向かって沖縄の歴史・文化の拠点となるよう多様な活用を図る。
  - ・沖縄の伝統・文化及び王朝時代の状況を展示・発表する。
  - ・沖縄固有の歴史・文化にかかわる行事、祭事、芸能などについて積極的に導入を図り、多様で変化に富んだ利用運営を図る。
  - ・運営管理については、地元住民の利用に配慮しつつ適正かつ効果的な公園管理を図る。
  - ・県営公園区域と一体となった公園管理を行うよう配慮する。
- ④文化遺産の鑑賞、見学、体験という観光形態の充実を目指す。
  - ・国際交流の一助となる施設内容を検討する。
  - ・沖縄固有の歴史・文化、琉球王朝の往時の状況を展示・発表するなど、沖縄の歴史・文化の理解に役立つ施設内容とする。

### 2. 計画概念

本地区の公園計画にあたり、基本的理念や公園計画の考え方を踏まえて首里城の歴史性に配慮しつつ、都市公園としての機能性、周辺地域との関連性等を勘案し、その計画の基本的概念を3ゾーンに大別して示す。

#### ①大手城門ゾーン

首里城は城郭が西向きになっているので、那覇方面から東に向かう綾門大道が城への大手（正面）となっている。本ゾーンは欽会門、瑞泉門、漏刻門、広福門、下之御庭と広福門周辺をその範囲としている。

下之御庭は、広福門をくぐり奉神門へ向かう手前の空間である。この空間は南側に接する京の内と一体となって祭祀が行われたとされる広場であり、さらに、御庭で諸儀式を行う際の待機場所としても利用されていた。

これらの首里城の表玄関は、王城としての尊厳や格調の高さを誇っており、綾門大道、各城門、連続する城壁、石畳、沿道の石碑、湧水、緑濃い巨木や庭園樹などが一体となって、首里城の城門周辺の歴史的風致を形成していた。

本ゾーンは公園計画上では、綾門大道を経て首里城へ入るメインのアプローチ空間になるとともに、次のゾーンへの期待感を抱かせる空間となる。したがって、歴史性を踏まえつつ、アプローチ空間として利用者の安全の確保とスムーズな移動を配慮した静的な雰囲気作りを図ってゆくとともに、下之御庭は利用者の動線が重なる部分でもあるので、スムーズな離合集散が行えるよう留意する。

#### ②正殿・御庭ゾーン

本ゾーンは歴史的には行政、儀礼などが行われた城の中核機能を有し、また、王家の住居などが集約していた中心部分である。正殿は沖縄最大の木造建築物というだけでなく、琉球建築の特質を最も良く表現した建物として戦前は旧国宝に指定されていた。

北殿は行政施設として摂政や三司官、多くの役人などが政務をとっていた。柱や梁には龍が描かれ、中国風の装飾が施されていたとされている。

南殿は、薩摩役人の接待や主に日本式の行事を催す

所で、日本色の強い建物となっていた。

奉神門は、門としての機能のほかに、平常は薬類やお茶・煙草などを取り扱う建物で、別名「君誇御門」<sup>きみほりごうげん</sup>とも呼ばれた。これらの建物によって囲まれた御庭は首里城で最も重要な儀式空間となっていた。

本ゾーンは公園利用の中心的役割を果たすもので、正殿を中心とする建物群の景観や正殿の建築美を認識させるとともに、沖縄の伝統・文化について静的な手法によることだけでなく、動的な手法によっても理解できる場とする。また、ここを訪れる内外の人々の各種交歓・交流の場ともなり得るよう配慮する。

### ③城郭ゾーン

首里城の城郭は16世紀後半にはほぼ王城としての完成をみた。

本ゾーンは主に建物群によって構成された正殿・御庭ゾーンを取り囲む位置にあり、首里城の形態的特徴でもある数々の御嶽や水源涵養のための樹林などがあつた神聖で静的な空間である。したがって、このような特徴を勘案して静かで落ち着いた雰囲気味わえるような整備を行う。また、首里城が周辺に比べて地形的に高いところに位置していることから、城内の特徴ある景観と城外の大きく開けた展望を活かした整備を行う。

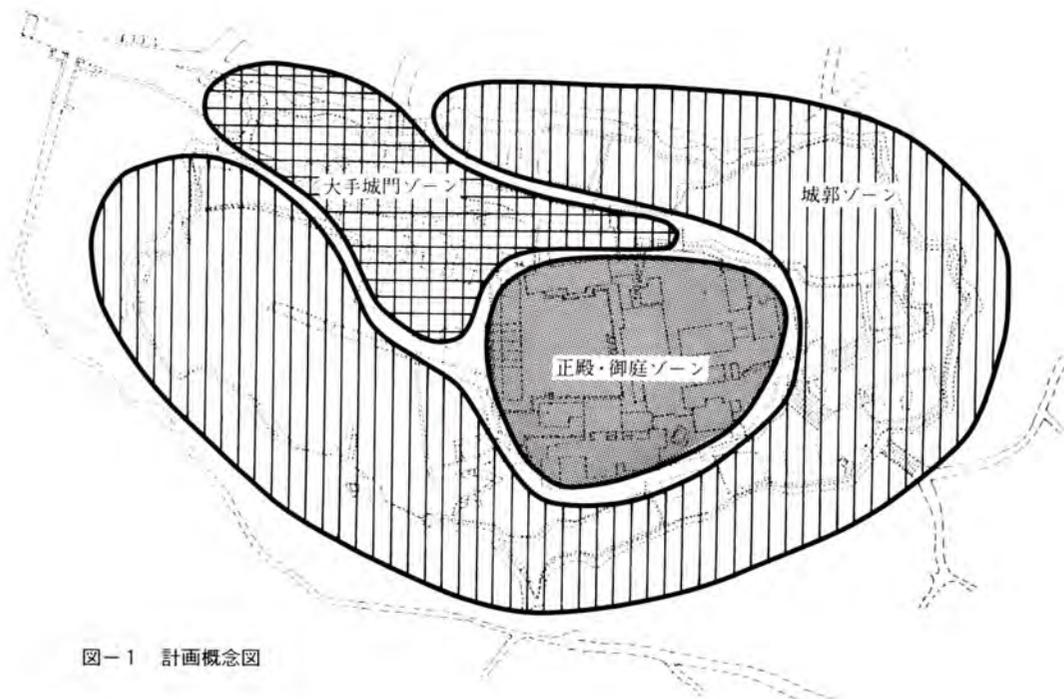


図-1 計画概念図